



# 海保固定翼機及び県防災航空隊ヘリによるサイン旗確認訓練(平成31年3月17日)



県では、災害発生時に避難所等との通信が途絶して孤立するなどの場合を想定し、「避難所に救助を求める避難者がいないか」、「その中に重傷者等がないか」を航空機等で把握し、的確な対応を行うため、避難者情報に関するサインを下記のとおり定めています。

## 1 サインの色

黄色	赤色
	
避難者がいること示します	避難者の中に、負傷者や要援護者などの緊急の救助を要する方がいることを示します

## 2 サインの大きさ

おおむね2m×2mです。



## 掲示方法

防災ヘリ等が上空から確認できるよう、避難所の屋上や広場などに広げて掲示する方法とします。

今回、津久見市における市内合同避難訓練において、海上保安庁固定翼機及び県防災ヘリによる上空からのサイン旗確認訓練を行いました。

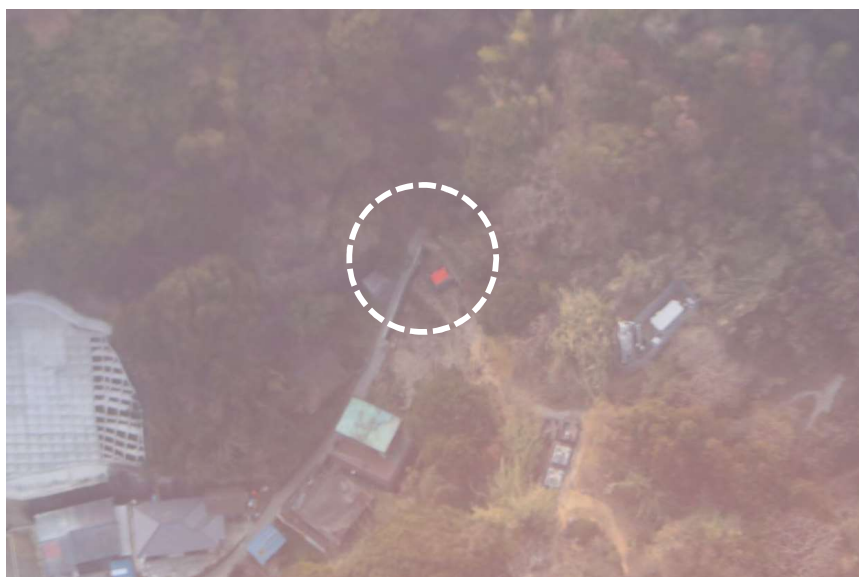
日時 平成31年3月17日(日) 9:00~

参加者 津久見市、津久見市地域住民、海上保安庁、大分県

調査場所 津久見市(長目、無垢島、間元、西泊、大元、狩床、高浜、深良津、刀白ヶ浜浦、鳩浦、荒代、赤崎、江ノ浦、網代、福良、日見等)



# 海保固定翼機及び県防災航空隊ヘリによるサイン旗確認訓練(平成31年3月17日)



県では、今後も、各関係機関と連携し、実践的な調査や孤立した避難場所の救助・救援方策について検討・検証を重ね、孤立状態となった避難場所からの緊急的な救援要請に応えられる体制を整備していきます。

県民の皆様も、まずは「発見」されるためのサイン旗の整備、救助・救援機関が現地に到着し支援活動が実施されるまでの間の避難生活を維持するための備え等、事前の防災対策をお願い致します。